

# 2022年12月期 第3四半期 決算説明資料



株式会社 ヴィンクス  
2022年 11月 9日(水)

証券コード : 3784

# 2022年12月期 第3四半期 決算説明資料

## ■ 決算概要

## ■ 主なトピックス

## ■ 【ご参考】B／S、分野別状況 等

## 2022年第3四半期累計の前年比は、 売上高 11.5%増、営業利益 30.0%増

単位：百万円（百万円未満切捨て）

国内小売業におけるDXのニーズの高まりと、既存顧客への更なる深耕が奏功したこと等により増収増益となりました。

|                      | 実績     | 前年比           | 前年差   |
|----------------------|--------|---------------|-------|
| 売上高                  | 24,156 | <b>111.5%</b> | 2,487 |
| 営業利益                 | 2,515  | <b>130.0%</b> | 581   |
| 経常利益                 | 2,516  | <b>129.4%</b> | 571   |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 | 1,659  | <b>133.3%</b> | 414   |

（連結の範囲の重要な変更）

2022年8月24日付で株式会社ホロンの株式を取得し子会社化したことに伴い、当第3四半期連結会計期間より、同社を新たに連結の範囲に含めております。

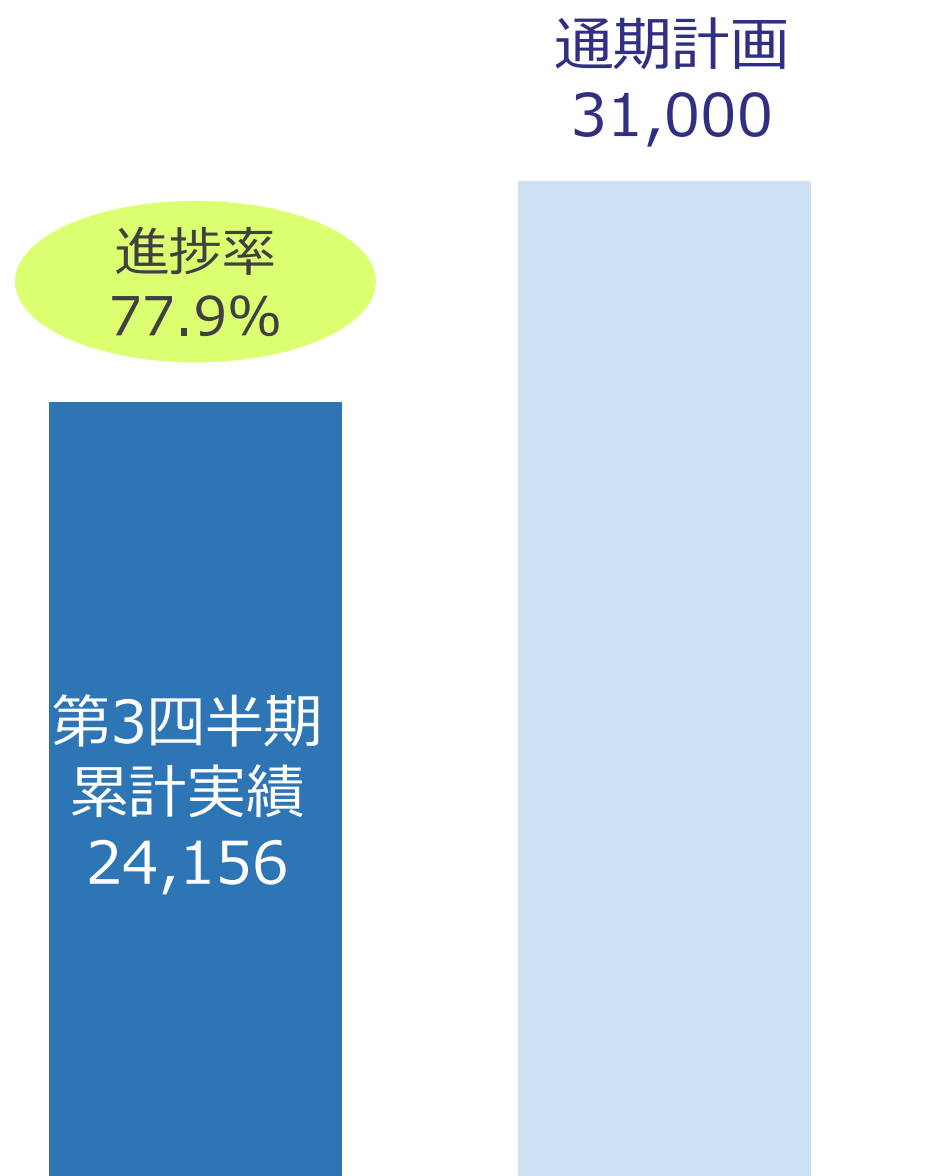
# 第3四半期までの進捗状況と通期見通し

VINX

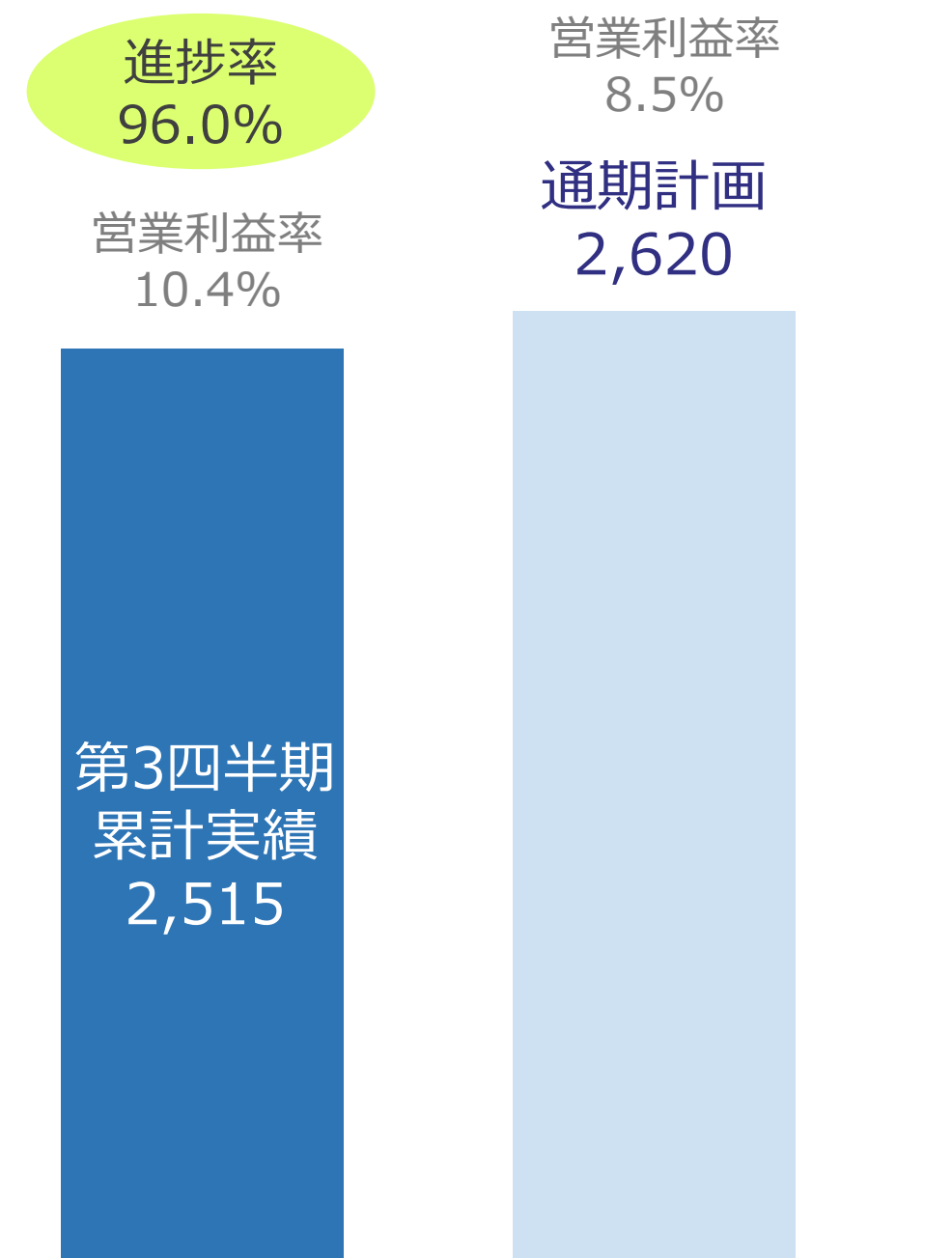
DXニーズの高まりにより、ハードウェアに依存しないPOSシステム(ANY-CUBE)、基幹システム（MDware）、自動発注システムなど、主要ビジネスであるソリューション・プロダクト分野によって、利益を順調に確保しています。今後も引き続きDXニーズの高まりにより、順調に推移することを想定しておりますが、現時点では通期見通しを据え置いております。

単位：百万円、%

## 売上高



## 営業利益・営業利益率

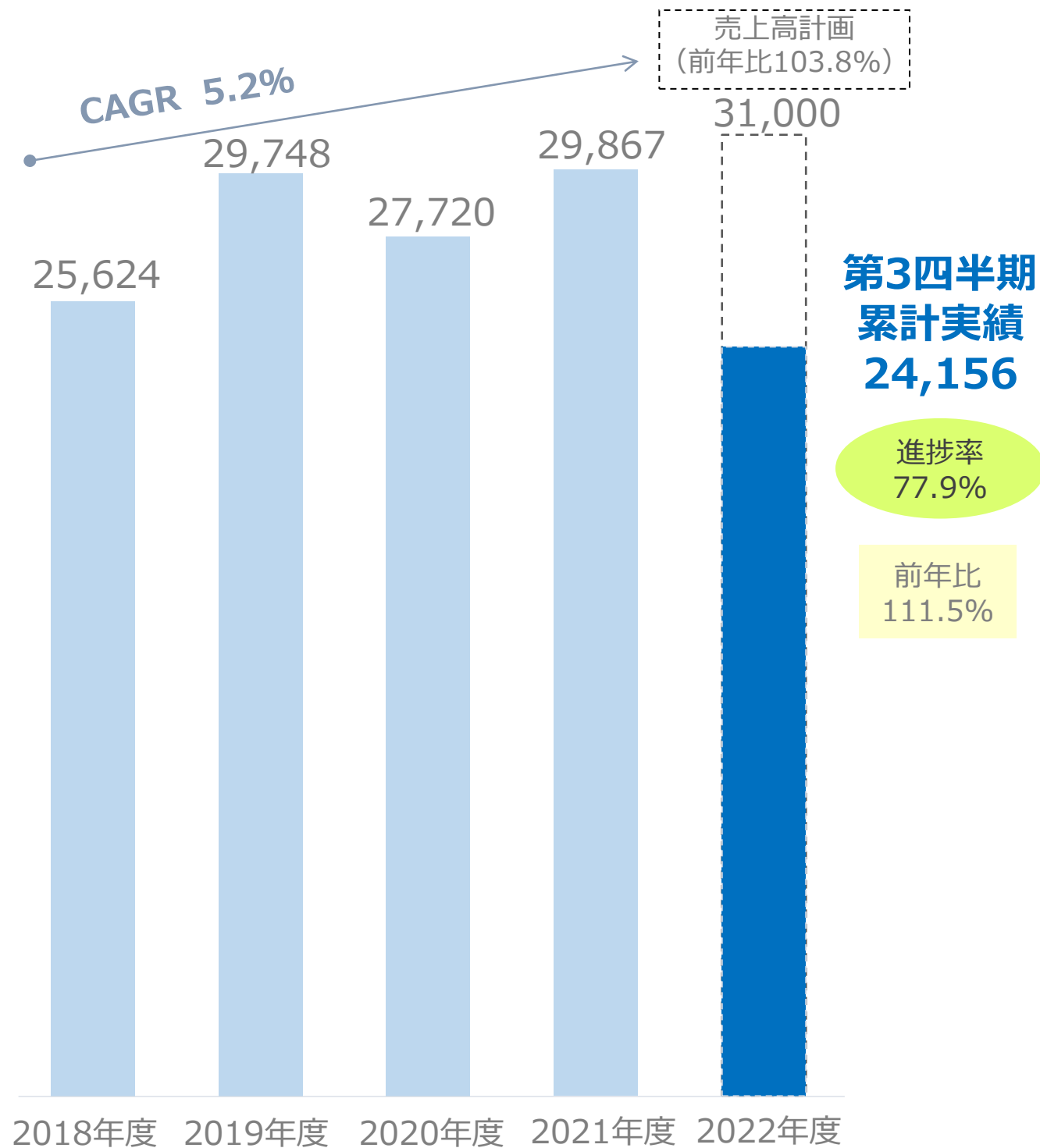


# 売上高・営業利益の推移

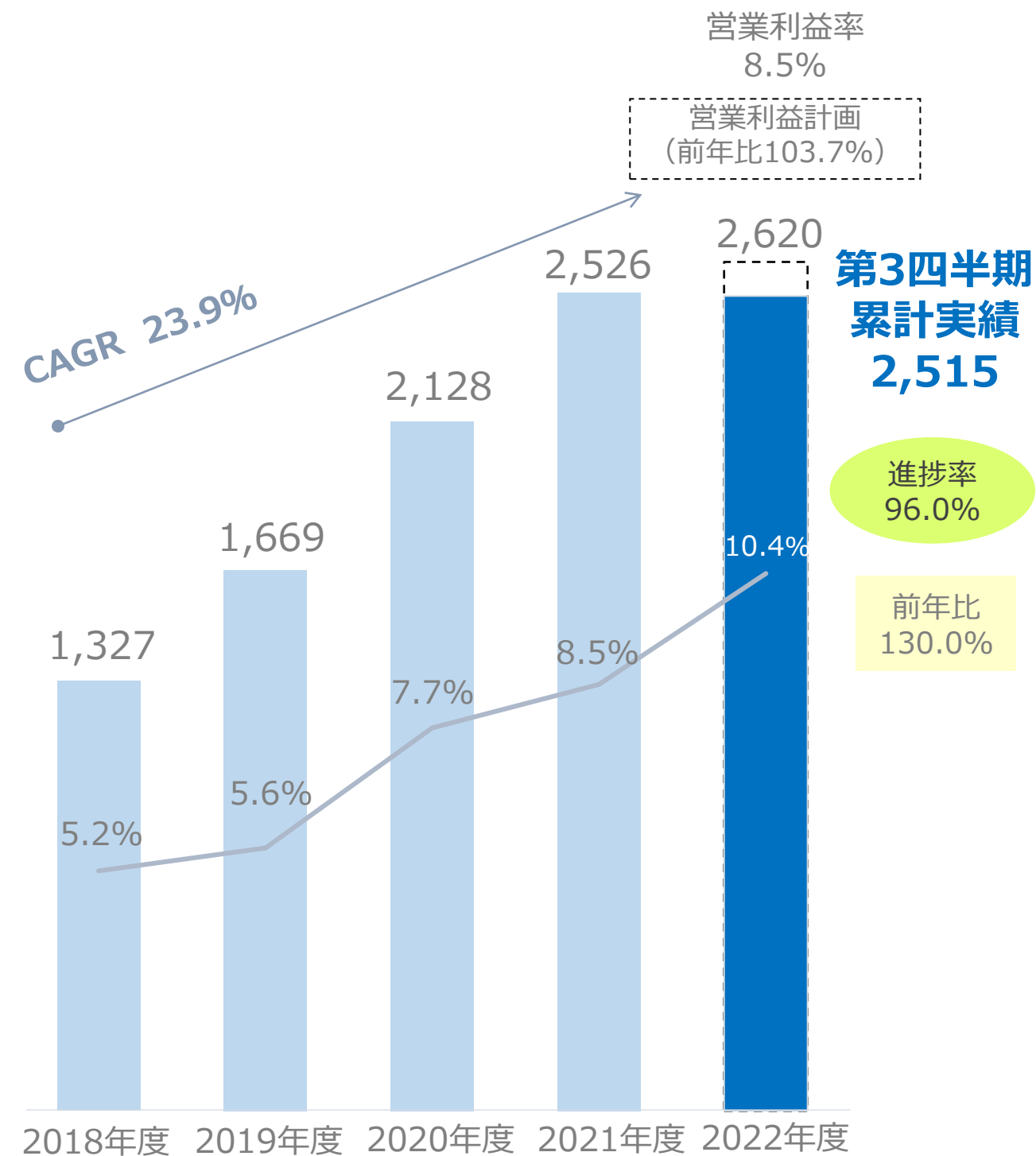
VINX

単位：百万円、%

## 売上高



## 営業利益・営業利益率



※2018年実績値は、決算期変更のため12カ月に換算した数値です。

# 分野別 売上高・営業利益の状況 (第3四半期累計での比較)

VINX

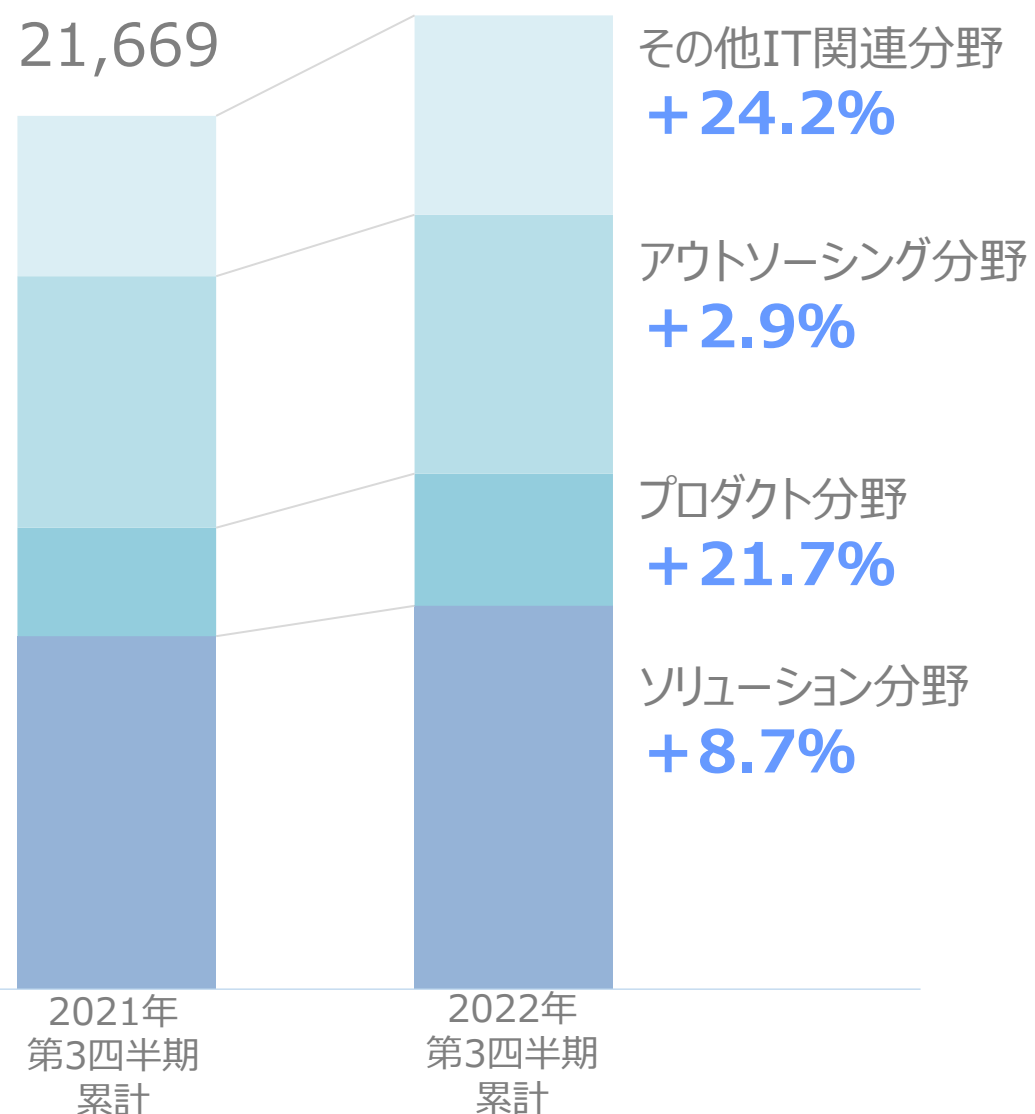
- ・ソリューション分野、プロダクト分野 : POS/MDのライセンス販売等が増加
- ・アウトソーシング分野 : 海外ビジネスがコロナ影響から一部回復し、増収増益
- ・その他IT関連分野 : 次世代セルフPOSなどのハードウェア販売および導入展開が増加

単位：百万円、%

## 売上高

前年比  
111.5%

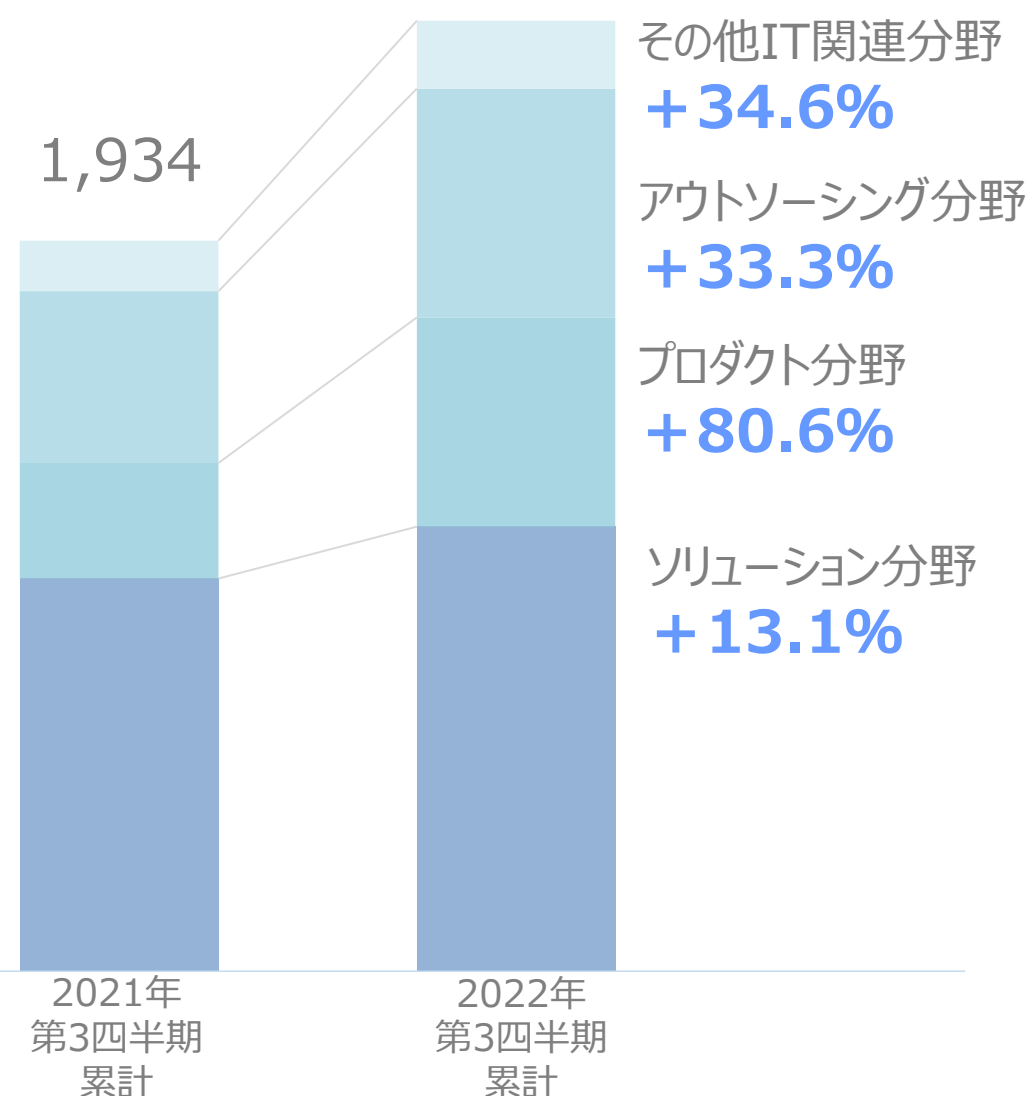
24,156



## 営業利益・営業利益率

前年比  
130.0%

2,515



# ソリューション分野・プロダクト分野 推移

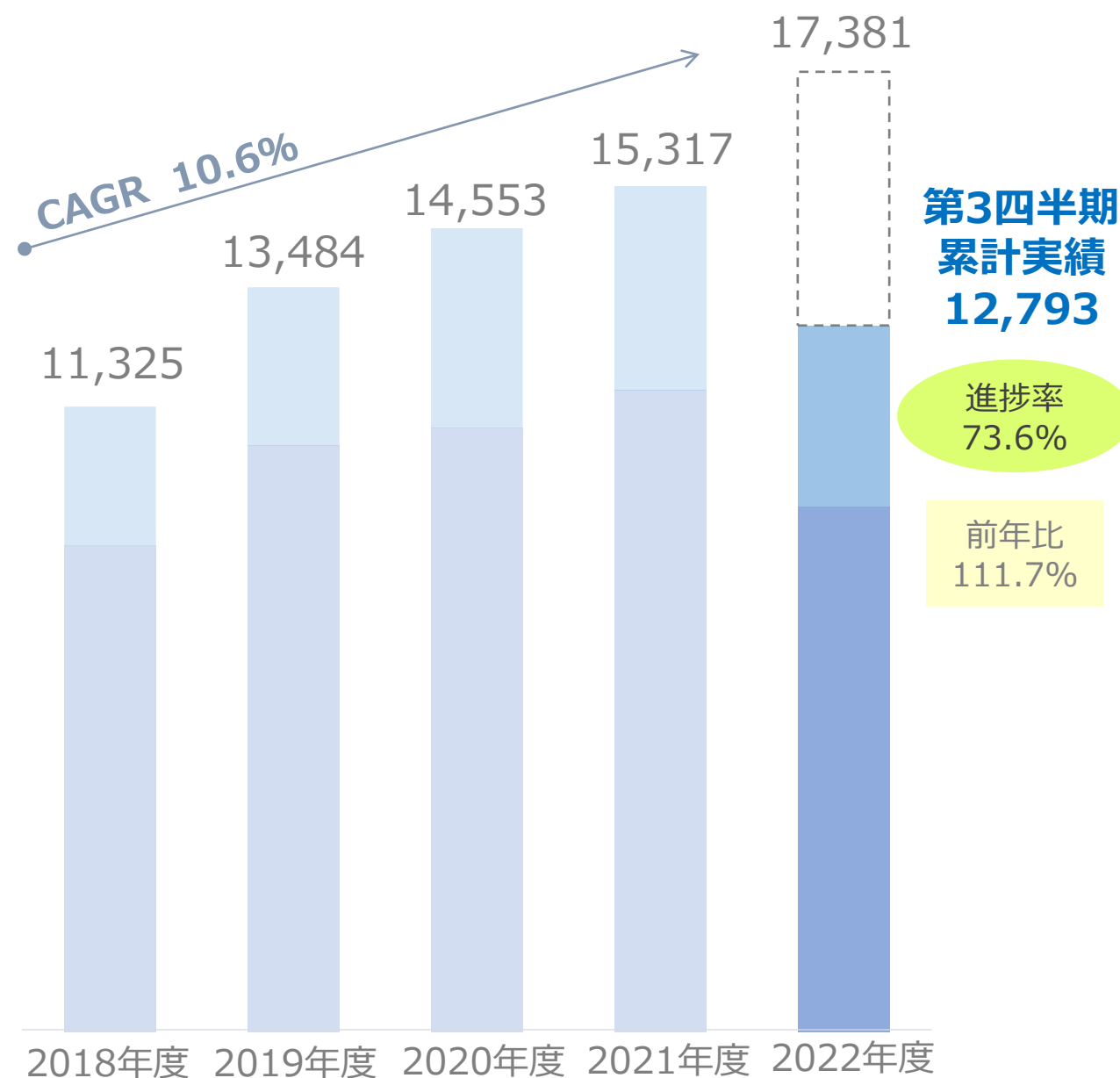
VINX

ソリューション分野・プロダクト分野は、DXニーズの高まりにより、ハードウェアに依存しないPOSシステム(ANY-CUBE)、基幹システム（MDware）、自動発注システムなど好調に推移

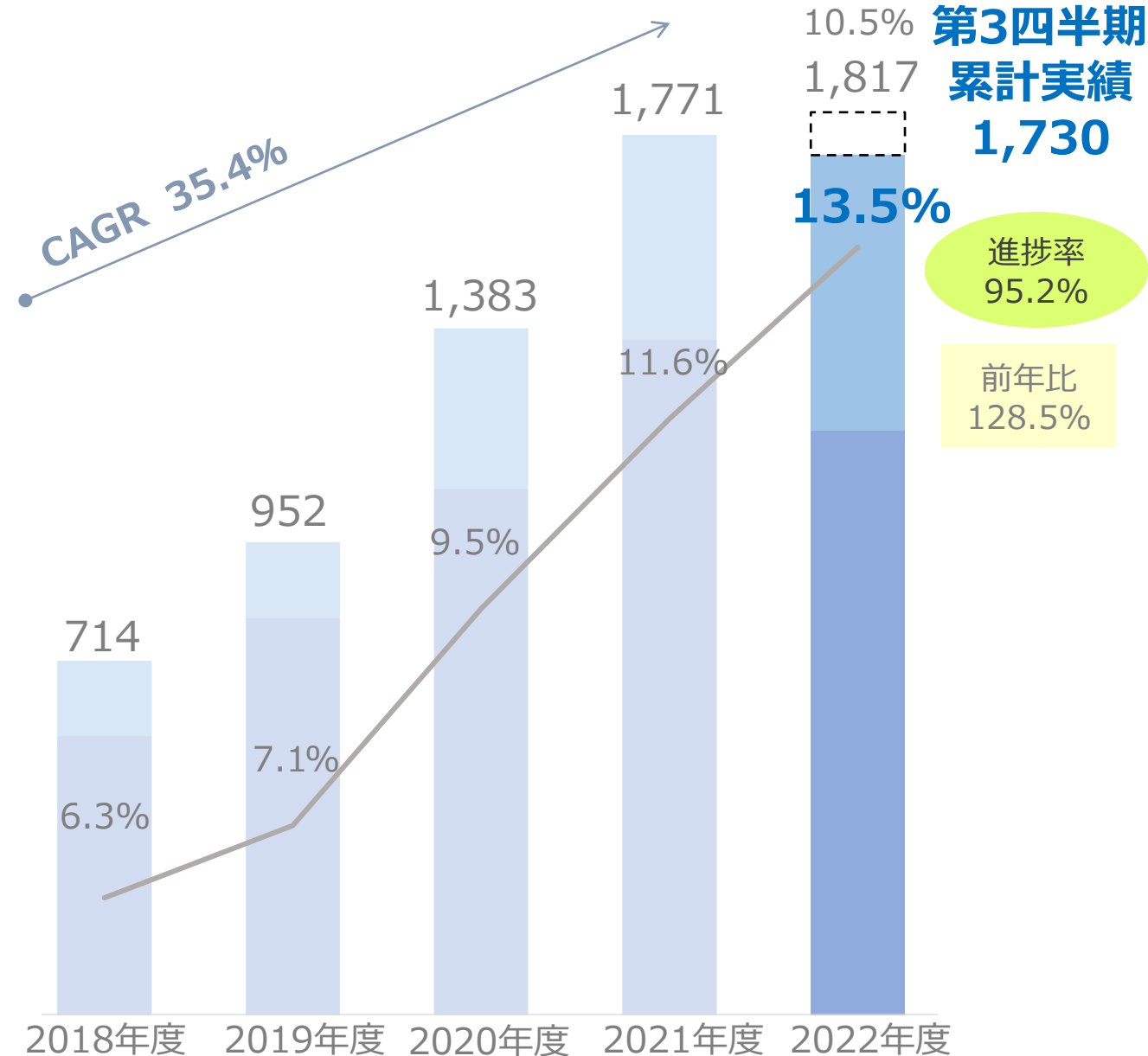
単位：百万円、%

## 売上高

- プロダクト分野
- ソリューション分野



## 営業利益・営業利益率



※2018年実績値は、決算期変更のため12カ月に換算した数値です。

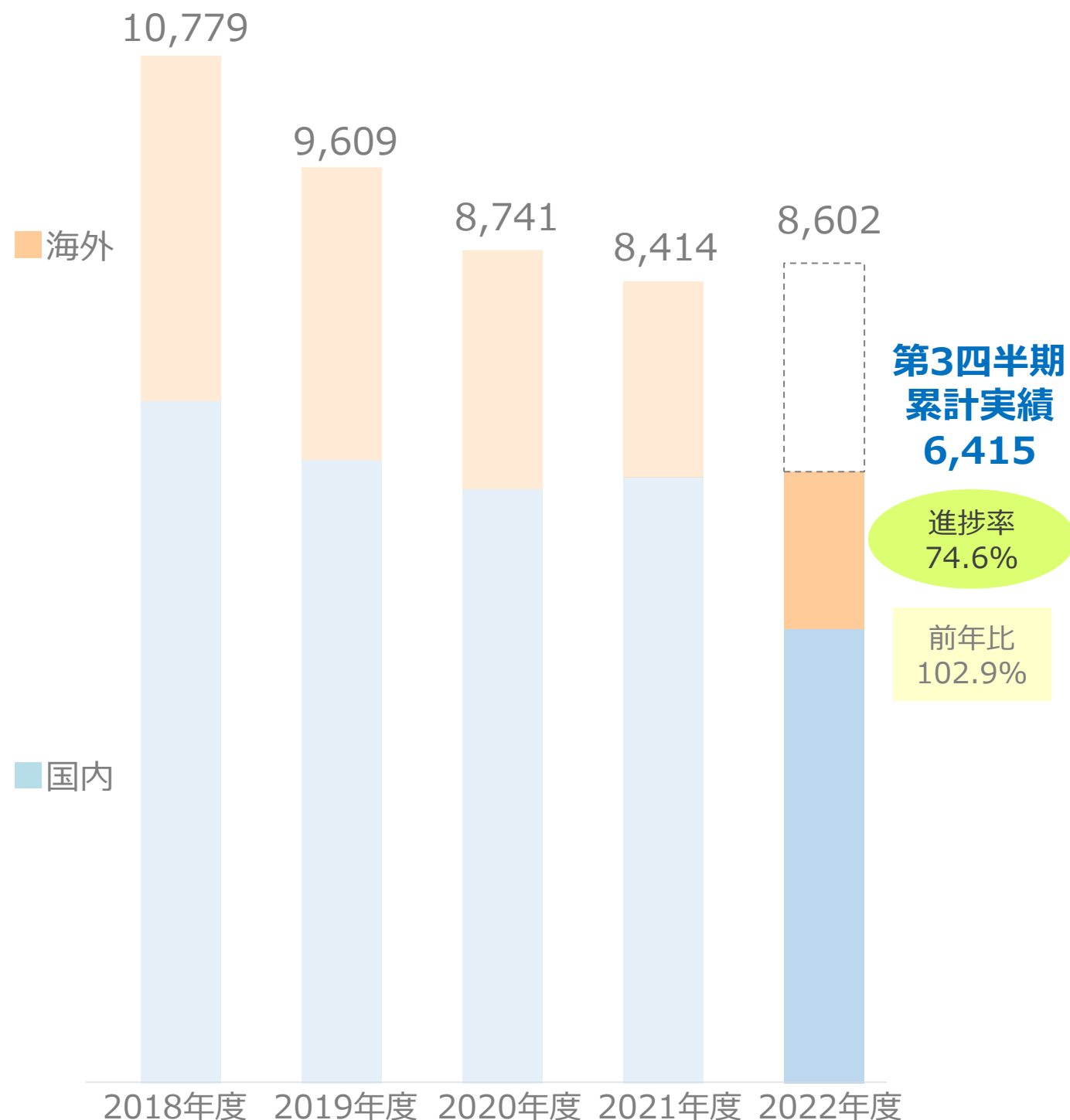
# アウトソーシング分野 推移

VINX

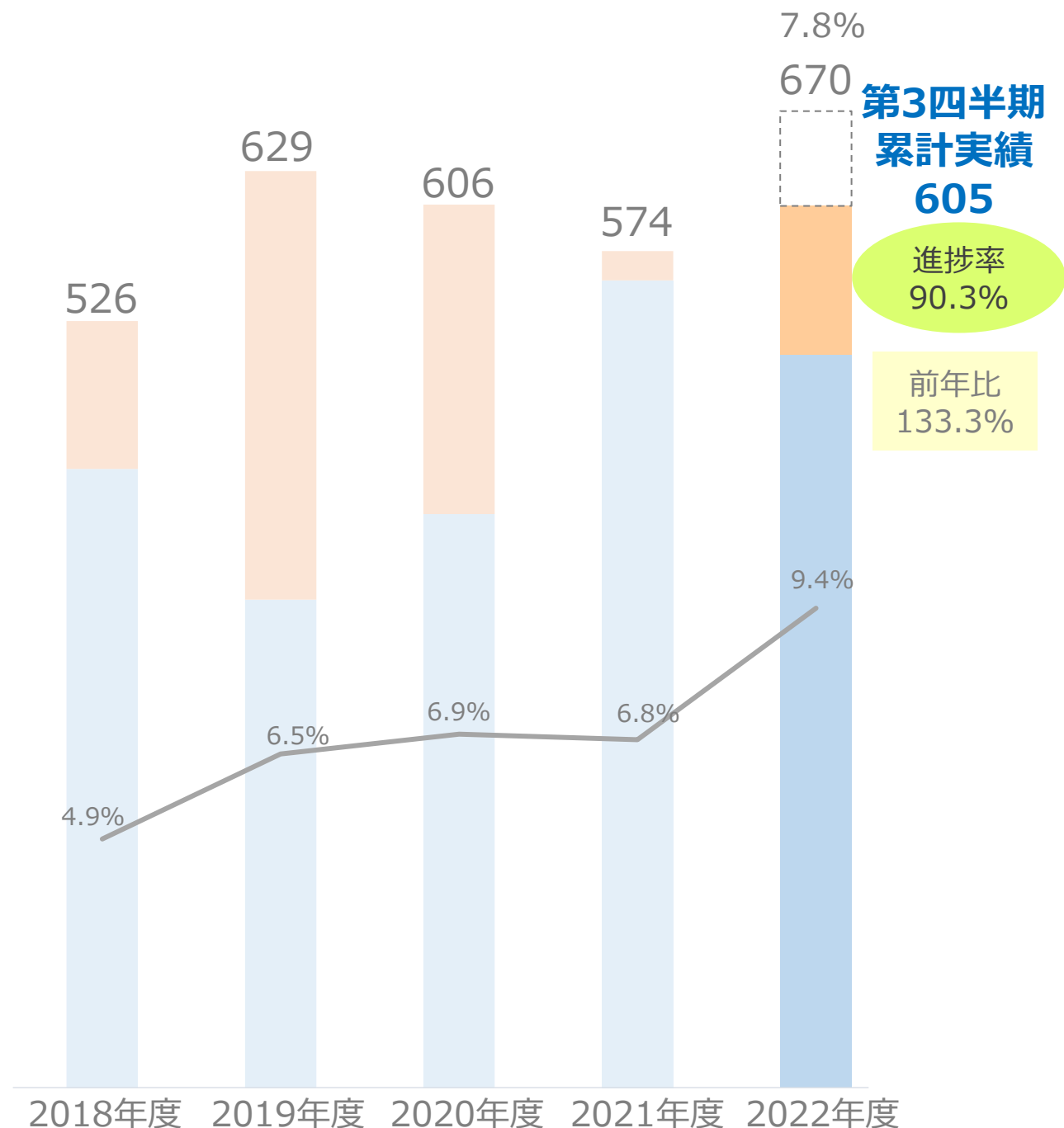
アウトソーシング分野は、海外ビジネスがコロナ影響から一部回復し、増収増益

単位：百万円、%

## 売上高



## 営業利益・営業利益率



※2018年実績値は、決算期変更のため12カ月に換算した数値です。

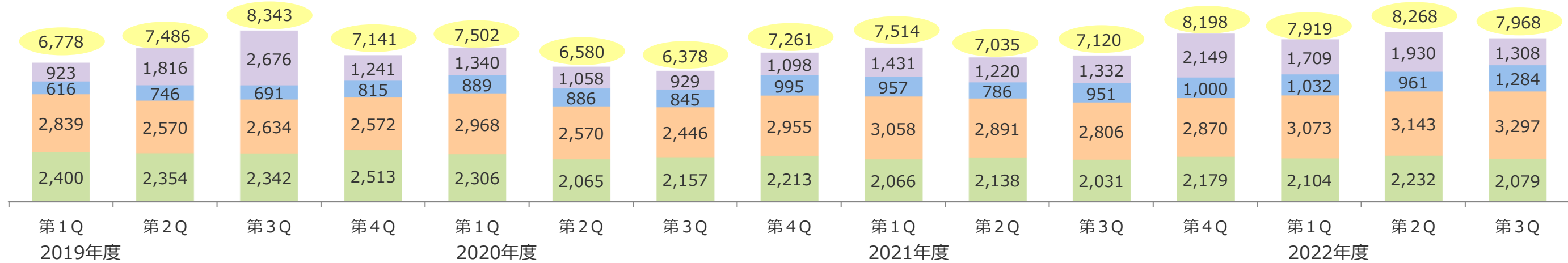
# 分野別状況 売上高・受注高・受注残高

VINX

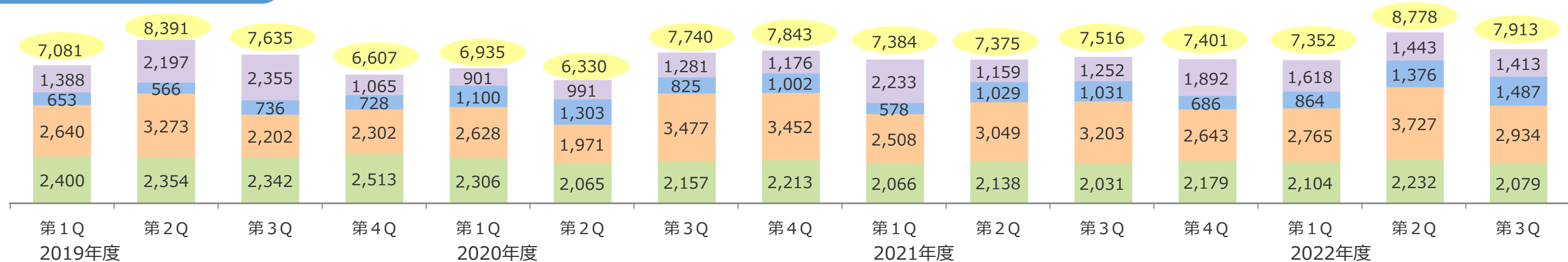
## 売上高推移

単位：百万円

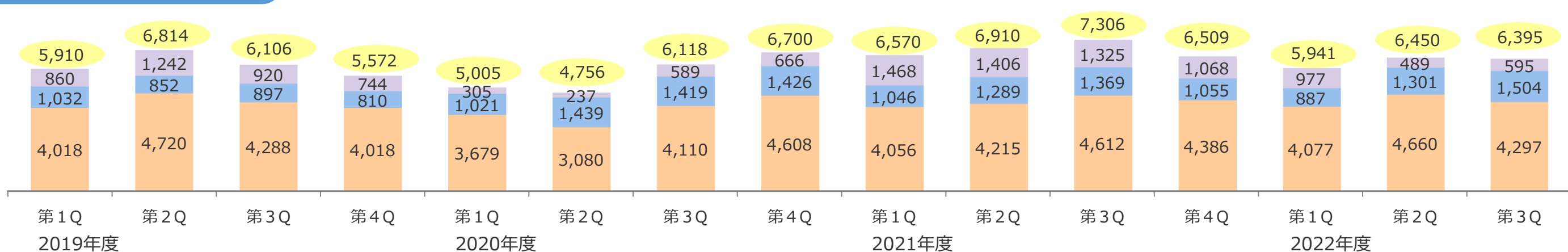
■ その他 I T 関連分野 ■ プロダクト分野 ■ ソリューション分野 ■ アウトソーシング分野



## 受注高推移



## 受注残高推移



※アウトソーシング分野は、受注生産型の事業形態ではないため期末受注残高の記載を省略しています。

# 2022年12月期 第3四半期 決算説明資料

## ■ 決算概要

## ■ 主なトピックス

## ■ 【ご参考】B／S、分野別状況 等

# 2022年度第3四半期までの営業活動における主なトピックス

VINX

|           |            |                                                                         |
|-----------|------------|-------------------------------------------------------------------------|
| ニユーリテール戦略 | 流通・サービス    | ○ <b>基幹システム</b><br>関西小売業グループ様より、基幹システム「MDware」の開発案件を受注いたしました。           |
|           | ドラッグストア    | ○ <b>POSシステム</b><br>関東地方を中心として展開するドラッグストア様より、次期POSシステムの開発案件を受注いたしました。   |
|           | 食品スーパー     | ○ <b>顧客管理システム</b><br>関東地方を中心として展開する食品スーパー様より、CRMシステムの開発案件を受注いたしました。     |
|           | 専門店        | ○ <b>顧客管理システム</b><br>全国に展開する靴専門店様より、CRMシステムの開発案件を受注いたしました。              |
|           | ディスカウントストア | ○ <b>POSシステム</b><br>西日本を中心として展開するディスカウントストア様より、次期POSシステムの開発案件を受注いたしました。 |
| 特定顧客化戦略   | 流通・サービス    | ○ <b>基幹システム</b><br>総合小売業グループ様より、物流関連の基幹システムの構築案件を受注いたしました。              |
|           | スーパー       | ○ <b>基幹システム</b><br>関東地方を中心として展開するスーパー様より、基幹システムのリプレイス案件を受注いたしました。       |
| グローバル市場戦略 | ドラッグストア    | ○ <b>店舗IT運用</b><br>全国に展開するドラッグストア様より東南アジアの店舗 I T の運用業務を受注いたしました。        |
|           | コンビニエンスストア | ○ <b>会計システム</b><br>コンビニエンスストアの現地法人様の総合会計システムの導入案件を受注いたしました。             |

## 経済産業省が定める「DX認定事業者」の認定取得のお知らせ

2022年10月1日付で経済産業省が定めるDX認定制度に基づく「DX認定事業者」に認定されましたので、お知らせいたします。



当社は、お客様および当社のDXを加速させるために、自社の事業構造改革で、業務のデジタル化とDX人材の育成をすることにより、当社の成長戦略である「ニューリテール戦略」「既存ビジネスの高度化」を推進してまいりました。その推進状況と適切な情報開示などが経済産業省の認定基準を満たしていることから、本認定の取得となりました。今後も、小売業のDX化を推進し、当社とお客様の競争力向上・ビジネス拡大を目指してまいります。

当社のDX戦略については右記をご参照願います。 ⇒ [ヴィンクス『DX戦略』](#)



### <参考> DX認定制度について

#### ◆DX認定制度(経済産業省)

[https://www.meti.go.jp/policy/it\\_policy/investment/dx-nintei/dx-nintei.html](https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/investment/dx-nintei/dx-nintei.html)

DX認定制度とは、「情報処理の促進に関する法律」に基づき、「デジタルガバナンス・コード」の基本的事項に対応する企業を国が認定する制度です。独立行政法人情報処理推進機構が、本制度に関わる「DX認定制度事務局」として各種相談・問合せ、及び認定審査事務を行っています。

#### ◆DX認定制度 認定事業者の一覧

<https://disclosure.dx-portal.ipa.go.jp/p/dxcp/top>

## ジョブ管理ツール「LoadStar Scheduler」の事業継承について

当社は、1992年より30年に渡りIBMi系の運用管理プロダクトの開発・販売を行い、1000社を超えるお客様にご利用いただいております。また、2013年より「Zabbix 認定パートナー」、2014年には「LoadStar認定リセラー」として、OPEN系の運用監視製品の販売及びサービスの拡充を行ってまいりました。

この度、更なる運用管理プロダクトビジネス拡大を目的として、ソフトバンク様より本製品の事業を継承することとなりました。今後、自社の運用管理プロダクトである「VI シリーズ」との連携を進め、相乗効果による製品価値を高めつつ、新しい取り組みとしてクラウドサービスへの対応・展開をすすめることにより、運用管理プロダクトビジネスの更なる拡大と発展を図ってまいります。

## LoadStar Scheduler

ジョブ管理ツール  
「ロードスタースケジューラー」

システム運用管理者による視点で開発された運用ジョブ管理ソフトウェアです。

特徴として、実際の運用担当者が設計開発した使いやすさを備え、本当に必要な機能をシンプルに無駄なく実装しています。

さらに製品の運用コストが他社製品より低く、管理規模が大きくなるほどコスト削減に寄与します。

システム運用管理において既に10年以上の実績があり、業務効率化やコスト削減に大きな成果を挙げている製品です。

製品ホームページ : <https://www.vinx.co.jp/loadstar/>



## 株式会社ホロンの連結子会社化について

2022年8月24日付で株式会社ホロンの株式を取得し  
子会社化したことに伴い、当第3四半期連結会計期間より、  
ホロン社を新たに連結の範囲に含めております。



ホロン社は、1987年の設立時より「H O L O S（全体）とO N（個）の調和と融合」を基本理念としており、同社の主力製品である「A P - V i s i o n」は、現在までにアパレルを中心に250社を超える多くのお客様に採用頂いております。

当社は、専門店ビジネスの更なる拡大とヴィンクスグループ全体の開発力強化に寄与すると判断し、同社を子会社化いたしました。

### ホロン社 会社概要

| 項 目 |   |               | 概 要                                                             |
|-----|---|---------------|-----------------------------------------------------------------|
| 所   | 在 | 地             | 名古屋市中村区名駅二丁目37番21号                                              |
| 代   | 表 | 者 の 役 職 ・ 氏 名 | 代表取締役社長 小泉 登                                                    |
| 事   | 業 | 内 容           | ソフトウェアの企画・設計・開発・運用保守                                            |
| 資   | 本 | 金             | 6,080万円                                                         |
| 主   | な | 製 品           | 販売物流基幹システム「A P - V i s i o n」他                                  |
| U   | R | L             | <a href="https://www.holon.ne.jp/">https://www.holon.ne.jp/</a> |

## ESGへの取り組み

当社は、今後も引き続き環境保護・保全活動を通じて社会に貢献してまいります。

### Environment



| 1. 環境                | 2020年12月期 | 2021年12月期 |
|----------------------|-----------|-----------|
| GHG（温室効果ガス）排出量：スコープ1 | 0 t-CO2   | 0 t-CO2   |
| GHG（温室効果ガス）排出量：スコープ2 | 587 t-CO2 | 568 t-CO2 |
| スコープ1、2のGHG総排出量      | 587 t-CO2 | 568 t-CO2 |
| エネルギー消費量：スコープ1       | 0 kWh     | 0 kWh     |
| エネルギー消費量：スコープ2       | 1,138千kWh | 1,103千kWh |

※スコープ1は石油や燃料等から直接的に排出するGHG排出量。スコープ2は、電力の利用等で間接的に排出するGHG排出量です。  
 ※スコープ1、2のGHG排出量は本社、東京オフィス、幕張オフィスの電力使用量及び東京オフィスの冷水使用量より算出しています。

### Social



| 2. 社会              | 2020年12月期 | 2021年12月期 |
|--------------------|-----------|-----------|
| 従業員数               | 1,100名    | 1,110名    |
| 女性従業員比率            | 27.90%    | 28.60%    |
| 女性管理職比率            | 8.40%     | 8.90%     |
| 一人当たり平均時間外労働時間（月間） | 12.0時間    | 13.5時間    |
| 年次有給休暇取得率          | 63.80%    | 69.70%    |
| 育児休業取得件数           | 19件       | 29件       |
| 男性育児休業取得率          | 0.00%     | 43.70%    |
| 育児休業からの復職率         | 100%      | 100%      |
| 介護休業取得件数           | 0件        | 0件        |

※集計対象は株式会社ヴィンクスのみ。

### Governance



| 3. ガバナンス                    | 2020年12月期 | 2021年12月期 |
|-----------------------------|-----------|-----------|
| 取締役人数 ※期中に開催された定時株主総会後の人数   | 6名        | 7名        |
| 社外取締役人数 ※期中に開催された定時株主総会後の人数 | 2名        | 2名        |
| 女性取締役人数 ※期中に開催された定時株主総会後の人数 | 0名        | 0名        |

利益体質の改善が順調に図れていることから、2022年度より配当政策を見直しております。

2022年度については、配当性向35.2%、年間15円増配し、35円を計画しております。

|                | 年間配当金         |           |           | 配当金総額合計<br>(百万円) | 配当性向（連結）<br>(%) | 純資産配当率(連結)<br>(%) |
|----------------|---------------|-----------|-----------|------------------|-----------------|-------------------|
|                | 第2四半期末<br>(円) | 期末<br>(円) | 合計<br>(円) |                  |                 |                   |
| 2020年度         | 6.5           | 7.5       | 14.0      | 235              | 19.3            | 2.9               |
| 2021年度         | 7.0           | 13.0      | 20.0      | 336              | 20.8            | 3.5               |
| 2022年度         | 17.5          |           |           |                  |                 |                   |
| 2022年度<br>(予想) |               | 17.5      | 35.0      | —                | 35.2            | —                 |

# 2022年12月期 第3四半期 決算説明資料

■ 決算概要

■ 主なトピックス

■ 【ご参考】B／S、分野別情報 等

## 貸借対照表

単位：百万円（百万円未満切捨て）、％

| 区分         | 2022年12月期<br>第3四半期末 |            | 2021年12月期<br>期末 |        |
|------------|---------------------|------------|-----------------|--------|
|            |                     | 構成比<br>(%) |                 | 差額     |
| 流動資産       | 16,042              | 79.4       | 15,976          | 65     |
| 固定資産       | 4,165               | 20.6       | 4,528           | ▲363   |
| ＜有形固定資産＞   | 867                 | 4.3        | 1,066           | ▲199   |
| ＜無形固定資産＞   | 1,292               | 6.4        | 1,536           | ▲243   |
| ＜投資その他の資産＞ | 2,005               | 9.9        | 1,925           | 80     |
| 資産合計       | 20,207              | 100.0      | 20,505          | ▲297   |
| 流動負債       | 5,516               | 27.3       | 6,972           | ▲1,455 |
| 固定負債       | 2,005               | 9.9        | 2,394           | ▲389   |
| 負債合計       | 7,521               | 37.2       | 9,366           | ▲1,844 |
| 純資産        | 12,685              | 62.8       | 11,138          | 1,547  |
| 負債・純資産 合計  | 20,207              | 100.0      | 20,505          | ▲297   |

### ＜貸借対照表のポイント＞

主な増減要因は、以下の通りです。

#### ・資産

|                    |             |
|--------------------|-------------|
| 現金及び預金             | 13億 14百万円増加 |
| 受取手形、売掛金<br>及び契約資産 | 11億 43百万円減少 |
| 工具、器具及び備品          | 1億 68百万円減少  |
| ソフトウェア             | 2億 10百万円減少  |

#### ・負債

|       |           |
|-------|-----------|
| 買掛金   | 6億 6百万円減少 |
| 短期借入金 | 6億 2百万円減少 |
| 長期借入金 | 4億 5百万円減少 |

#### ・純資産

|          |             |
|----------|-------------|
| 利益剰余金    | 11億 47百万円増加 |
| 為替換算調整勘定 | 2億 52百万円増加  |
| 非支配株主持分  | 1億 41百万円増加  |

# 分野別状況 売上高・営業利益

VINX

単位：百万円（百万円未満切捨て）、％

| 売上高          | 2022年第3四半期累計  |        | 前年対比   |               |       |
|--------------|---------------|--------|--------|---------------|-------|
|              | 実績値           | 売上構成   | 実績値    | 前年比           | 前年差   |
| 1.アウトソーシング分野 | <b>6,415</b>  | 26.6%  | 6,235  | <b>102.9%</b> | 180   |
| 2.ソリューション分野  | <b>9,514</b>  | 39.4%  | 8,755  | <b>108.7%</b> | 759   |
| 3.プロダクト分野    | <b>3,278</b>  | 13.6%  | 2,693  | <b>121.7%</b> | 584   |
| 4.その他IT関連分野  | <b>4,947</b>  | 20.5%  | 3,984  | <b>124.2%</b> | 963   |
| 合計           | <b>24,156</b> | 100.0% | 21,669 | <b>111.5%</b> | 2,487 |

| 営業利益         | 2022年第3四半期累計 |       | 前年対比  |               |     |
|--------------|--------------|-------|-------|---------------|-----|
|              | 実績値          | 営業利益率 | 実績値   | 前年比           | 前年差 |
| 1.アウトソーシング分野 | <b>605</b>   | 9.4%  | 454   | <b>133.3%</b> | 151 |
| 2.ソリューション分野  | <b>1,176</b> | 12.4% | 1,039 | <b>113.1%</b> | 136 |
| 3.プロダクト分野    | <b>554</b>   | 16.9% | 306   | <b>180.6%</b> | 247 |
| 4.その他IT関連分野  | <b>180</b>   | 3.6%  | 134   | <b>134.6%</b> | 46  |
| 合計           | <b>2,515</b> | 10.4% | 1,934 | <b>130.0%</b> | 581 |

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

正確性を期すために慎重に行っておりますが、正確性・完全性を保証するものではありません。

また、本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は当社の公表している将来見通しとは大きく異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社ヴィンクス  
企画本部 経営企画部  
連絡先：03-5637-7607